

溶剤系2液型エポキシ樹脂塗料
ポウジンテックス
#2000



- 耐久性
- 耐薬品性
- 高光沢

優れた耐久性、幅広い用途

エポキシ樹脂の特長である高い密着性と優れた耐久性を併せ持ち、強靭で美しい床面をつくる2液型の高級塗料です。
耐水性・耐薬品性・耐油性は特に高く、化学薬品工場、印刷工場等に最適。また重量物の運搬や頻繁な走行に対しても優れた耐摩耗性を発揮します。



特長・用途

特長



ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 強靭で美しい塗膜が得られ防塵性に優れている
- 2 耐薬品性、耐油性に優れ、過酷な使用条件にも耐える
- 3 耐摩耗性に優れ、広い用途に使用できる
- 4 溶剤系塗料でありながら肉持ち感に優れる
- 5 抗菌仕様も可能

用途

- 1 強靭な塗膜を必要とする一般工場、倉庫
- 2 リフトが走行する工場や倉庫
- 3 耐薬品性、耐油性が要求される機械、印刷工場
- 4 耐摩耗性が必要な屋内パーキング
- 5 食品工場などの抗菌効果が必要な床(抗菌仕様)
※常時水および熱水がかかる床面には不適です。



一般工場・倉庫



運搬車両使用工場



機械工場



化学薬品工場・印刷工場



食品工場



自動車修理工場



事務室・ロビー



電気室・機械室



店舗・通路



屋内パーキング



車両通行通路



歩行者専用通路



階段・廊下

性能・荷姿

性能		
試験項目	試験方法	結果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付200 μ m,60度	95以上
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	H
耐摩耗性 (mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g \times 2, 1000回転	55 \pm 5
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に1ヵ月間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48h浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48h浸せき	異常なし
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 50 $^{\circ}$ C温水に48h浸せき	異常なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

荷姿

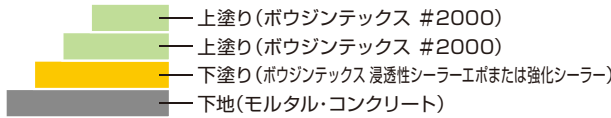
■ 上塗り材	
ポウジンテックス #2000	16kgセット(主剤12kg/硬化剤4kg) 4kgセット(主剤3kg/硬化剤1kg)
ポウジンテックス #2000抗菌	16kgセット(主剤12kg/硬化剤4kg) 4kgセット(主剤3kg/硬化剤1kg)
■ 下塗り材	
ポウジンテックス 浸透性シーラーエポ	14kgセット(主剤10.5kg/硬化剤3.5kg) 3.2kgセット(主剤2.4kg/硬化剤0.8kg)
ポウジンテックス 強化シーラー	16kg・4kg
ポウジンテックス ハイEプライマーII	14kgセット(主剤10.5kg/硬化剤3.5kg) 3.2kgセット(主剤2.4kg/硬化剤0.8kg)
ポウジンテックス 油面シーラーエポ	16kgセット(主剤12kg/硬化剤4kg) 4kgセット(主剤3kg/硬化剤1kg)
■ 希釈剤	
ポウジンテックス #2000シンナー	16L・4L
ポウジンテックス #5000Uシンナー	16L・4L(強化シーラー用)
■ 副資材	
歩行用防滑骨材	300g
ポウジンテックス フィラー	5kg

BOUJINTEX #2000

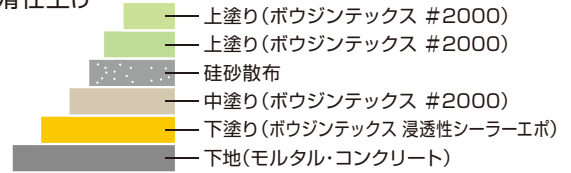
塗装工程

モルタル・コンクリート面

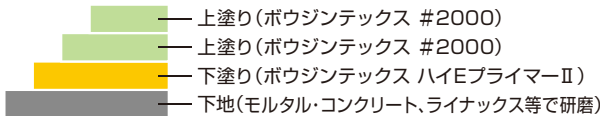
①③平滑仕上げ



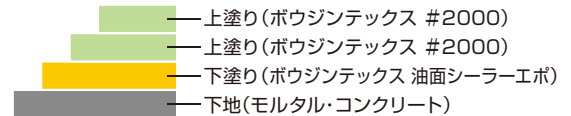
②防滑仕上げ



④その他の下塗り材



油のこぼれた床面



塗装仕様

■モルタル・コンクリート面

①平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~117	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
上塗り	ボウジンテックス #2000 主剤12kg 硬化剤4kg	10~20% #2000シンナー	ハケ ローラー	2	0.16~0.2	40~50	4h以内	6h以上	—	16h以上 完全硬化2日以上

※上塗り1回目に歩行用防滑骨材を混合することにより、軽歩行用防滑仕上げが可能です。(添加量:300g/1セット) ※シンナーのすい込みがはげしい場合は2回塗りをしてください。

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。 ※抗菌効果が必要な床には上塗りにボウジンテックス #2000抗菌をご使用ください。

②防滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~117	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
中塗り	ボウジンテックス #2000 主剤12kg 硬化剤4kg	10~20% #2000シンナー	ハケ ローラー	1	0.16~0.2	80~100	4h以内	—	6h以上	—
珪砂散布	中塗り乾燥までに5~6号珪砂を0.1~0.3kg/m ² 均一に散布する。									
上塗り	ボウジンテックス #2000 主剤12kg 硬化剤4kg	10~20% #2000シンナー	ハケ ローラー	2	0.16~0.2	40~50	4h以内	6h以上	—	16h以上 完全硬化2日以上

※抗菌効果が必要な床には上塗りにボウジンテックス #2000抗菌をご使用ください。 ※シンナーのすい込みがはげしい場合は2回塗りをしてください。

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

③その他の下塗り材 (1液型)

下塗り	ボウジンテックス 強化シーラー 16kg	0~10% #5000Uシンナー	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	100~133	—	—	4h以上 24h以内	—
-----	-------------------------	---------------------	------------	---	-----------	---------	---	---	---------------	---

※上記仕様の下塗り(浸透性シーラーエポ)の代わりにボウジンテックス 強化シーラーも可能です。また塗り替え時、旧塗膜の種類により、強化シーラーを使用する場合があります。 ※シンナーのすい込みがはげしい場合は2回塗りをしてください。

④その他の下塗り材 (ライナックスK-30で研磨した場合)

下塗り	ボウジンテックス ハイEプライマーII 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	0~5% #2000シンナー	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~117	1h以内	—	3h以上 48h以内	—
-----	--	-------------------	------------	---	-----------	--------	------	---	---------------	---

※下塗りにボウジンテックス ハイEプライマーIIを塗装される場合は、必ずライナックスK-30等で研磨してください。

■油のこぼれた床面

素地調整	油用洗剤をまき、ポリリッシャーまたはデッキブラシでブラッシングして表面の油分を除去する。その後、水洗いし充分に乾燥させる。泥、ホコリが堆積し、油污の著しい場合は、ライナックス等ハツリ機にて油のしみ出してこない深さまで下地を油泥ごと除去する。その後、掃除機等で清掃する。									
下塗り	ボウジンテックス 油面シーラーエポ 主剤12kg 硬化剤4kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.15~0.18	89~107	—	—	4h以上 48h以内	—

※油のこぼれた床面には、上記仕様の下塗り(浸透性シーラーエポ)の代わりにボウジンテックス 油面シーラーエポをご使用ください。 ※油面シーラーエポ16kgセットに対しボウジンテックス フィラー5kgを混合して塗装するとより効果的です。

注意事項

仕様全般

1. 気温5℃以下、相対湿度80%以上のときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
2. エポキシ樹脂塗料は直射日光により変色致しますので、外部への塗装は避けてください。なお、日差しが入り込む窓際への塗装もご注意ください。
3. 吸い込みのない旧塗膜面にポウジンテックス 強化シーラー塗装後、ポウジンテックス #2000を塗装する際には、強化シーラーを0.1kg/mf以下で塗装してください。また、換気が不十分な場合や湿度が低い場合、上塗り#2000塗装時にリフティングを生じる恐れがあります。
4. 下塗りの塗付量が下限値以下の場合は剥離の可能性があります。
5. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
6. 換気が不十分な場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
7. 静電気をさらう床には塗装しないでください。
8. 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
9. 防滑仕上げは標準3回塗りです。
10. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
11. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分配慮をお願いします。
12. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
3. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
4. 2液型塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
5. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
6. 市販の希釈用塗装シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
7. 2液型塗料の主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
8. 材料の保管、取扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

カラーサンプル



No.25 ブルーグレー



No.24 アクアグレー



No.19 ライトグレー



No.32 グレー



No.16 ライトベージュ



No.17 ベージュ



No.26 サンドベージュ



No.27 モカブラウン



No.28 ゴールドブラウン



No.20 ブラウン



No.1 オレンジブラウン



No.6 オレンジ



No.22 ハーモニークリーン



No.30 フィーバークリーン



No.23 オリーブ



No.21 フレッシュグリーン



No.9 ライトグリーン



No.10 グリーン



ライン用黄色



ライン用白

注)この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。発注の際は色見本帳または塗り板で色を確認してください。



水谷ペイント株式会社

LINE公式
アカウント開設!
ID: @521kgmun



水谷HPIは
こちら↓



本社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 007-0850	札幌市東区北50条東2丁目3-12	☎ (011) 702-5556 FAX (011) 702-5557
工場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2412050214601